

平成 24 年度税制改正（租税特別措置）要望事項（**新設**・拡充・延長）

（ 厚生労働 **省**・庁）

制 度 名		年金受給者の税負担	
税 目		所得税	
要 望 の 内 容	高齢者の生活の安定を図る見地から、老年者控除の復活をはじめ、年金受給者の税負担のあり方について検討を行う。		
		平年度の減収見込額 （制度自体の減収額）	- 百万円 （ - 百万円）
新 設 ・ 拡 充 又 は 延 長 を 必	<p>(1) 政策目的 高齢者の生活の安定を図る。</p> <p>(2) 施策の必要性 高齢者の生活の安定を図る見地から、年金受給者の税負担のあり方について検討を行う必要がある。</p>		
今 回 の 要	合 理 性	政策体系における政策目的の位置付け	<p>IV 地域で安心して健康に長寿を迎えられる社会を実現する</p> <p>6 「消えた年金」問題の対応に注力し、年金制度に対する信頼を回復するとともに、年金制度改革の道筋をつける等により、高齢者の所得保障の充実を図る</p> <p>6-1 年金制度改革の道筋をつけ、国民に信頼される公的年金制度を構築する</p>
		政策の達成目標	（要望の性格上、明示困難）

		租税特別措置の適用又は延長期間	恒久措置
		同上の期間中の達成目標	地域で安心して健康に長寿を迎えられる社会を実現する。
		政策目標の達成状況	(要望の性格上、明示困難)
	有効性	要望の措置の適用見込み	(要望の性格上、明示困難)
		要望の措置の効果見込み(手段としての有効性)	(要望の性格上、明示困難)
	相当性	当該要望項目以外の税制上の支援措置	地方税について、同様の要望を提出している。
		予算上の措置等の要求内容及び金額	(該当なし)
		上記の予算上の措置等と要望項目との関係	(該当なし)
		要望の措置の妥当性	(要望の性格上、明示困難)
	これまでの租税特別措置の適用実績と効果に関連する事項	租税特別措置の適用実績	(措置の性格上、明示困難)
租税特別措置の適用による効果(手段としての有効性)		(措置の性格上、明示困難)	

	前回要望時の達成目標	—
	前回要望時からの達成度及び目標に達していない場合の理由	—
これまでの要望経緯	(該当なし)	